

中国で刊行された日本語教科書における 口頭発表について

翟東娜 北京師範大学 zdna@bnu.edu.cn

呉麗楠 北京師範大学 nanatyan512@hotmail.com

要 旨

日本語教育の発展に伴い、中国においてもスピーチやプレゼンテーションなどのパブリックスピーキング指導が盛んになり、それを扱う教科書も多くなってきている。本稿は2000年以來中国で出版されているパブリックスピーキングを扱う教科書及び副教材を集め、日本語レベル、対象者、取り上げられているジャンル及び取り上げられ方の観点で考察した。

正規の教科書は授業科目により会話類と総合類に分けられ、対象者はいずれも大学日本語専攻の学生が主である。日本語レベルは会話類教科書は初級から上級へと全てのレベルに及んでいるが、中級以上のものが多い。一方、総合教科書は初級、中級、上級と明確にレベルが分けられ、口頭発表は初級、中級に集中している。その他の部類は教科書ではないため、日本語レベルは特定されていない。

取り上げられているジャンルは会話類教科書と総合教科書が幅広く、トップスリーは紹介・説明、感想を述べる、ディスカッションであるが、発表とポスター発表を合わせて計数すれば2番になる。その他の書物はスピーチ指導に集中している。

取り上げられ方は正規の教科書は実例の提示、課題・場面の提示、語彙・表現の提示などがある。中には、先行タスクから発表後評価まで学習プロセスが整っている会話類教科書もある。総合類教科書は近年応用を強調するため、産出活動の一環として調査発表などを練習に組み込まれるのである。

キーワード：日本語教科書、口頭発表、取り上げられているジャンル、
取り上げられ方

1. はじめに

中国における日本語教育では、従来からの四つスキル(聞く・話す・読む・書く)または五つスキル(聞く・話す・読む・書く・訳す)が唱えられ、教科書・教材もこれらのスキルを中心に開発されてきている。「話す」スキルに関しては、まず基礎段階の総合型教科書の本文として、会話の形を借りて文法項目を扱っている。そして、会話の科目に合わせ、日常会話の教科書が使用されている。または、会話と聴解とを合わせて一つの科目としている大学もあり、聴解・会話が一つになっている教科書もある。近年、会話に限らず、「話す」こととして、「日語口語」という科目及び教材も見られてきている。また、総合日本語教科書にも報告、説明、意見発表などの口頭発表が扱われているものがあり、パブリックスピーキングの重要性がますます認識されてきている。

一方、日本における口頭コミュニケーション教育では、日常会話を扱う「会話」と公的場での話を扱う「口頭発表能力」の二つが中心である(深澤・ヒルマン小林 2011)。近年、パブリックスピーキング教材の開発及び指導研究がなされてきている。本稿は深澤・ヒルマン小林(2011)から示唆を得て、2000年—2012年の間、中国で刊行されている日本語教科書のうち、パブリックスピーキングを扱う教科書を集め、対象者、日本語レベル、取り上げられているジャンル及び取り上げられ方の観点から考察する。

2. 調査概要

本調査は 2000 年以来中国国内で出版された日本語会話教材及び副教材、そして会話が扱われている総合日本語教科書を対象にする。教科書を直接確認できるように、調査の範囲を本学図書館、北京市最大の本屋及び日本学研究センターの図書館に絞った。実地調査の上、インターネットによる確認を 2012 年 9 月 13 日まで行った。

中から口頭発表が扱われているものを抽出し、(1) 会話・口語及び聴解・会話教科書（会話類教科書と略す）、(2) 総合日本語教科書（総合教科書と略す）及び (3) 副教材などをその他の3部類に分け、考察対象にした¹。量的統計は表1に示されている。

表1 2000－2012年に中国で刊行された口頭発表関連の教科書

部数 部類	述べ部数 ²	口頭発表が扱 われている部数	比率
(1) 会話類教科書	204	29	14.2%
(2) 総合教科書	108	18	16.7%
(3) その他	83	6	7%
合計	395	53	13.4%

(1) の会話教科書の部類では、『日本語表現技術・徐曙』などのように専らパブリックスピーキングを扱っているもの(付録資料1の3、7、14、15、28、29番)のほか、ほとんどが日常会話とともにパブリックスピーキングに関する内容も含まれているものである。考察の際、日常会話、話題会話やロールプレイなどを除いてパブリックスピーキングに限定することにする。

(2) の総合教科書の部類は、四つスキル(聞く・話す・読む・書く)を総合的に扱うことになっているが、スピーチ、発表、報告、ディスカッションなどのパブリックスピーキングが取り上げられている部分を考察する。

(3) のその他の部類は正規教科書ではないが、スピーチなど専らパブリックスピーキングを扱っているため、調査対象として考察する。

以上のほか、同時通訳の教科書もあり、紹介、宴会での挨拶や司会、演説、討論、ディスカッション、テーマ発表などパブリックスピーキン

¹ この12年間、初版と改訂版がある場合、改訂版を対象とする。

² 述べ部数の詳細は付録資料4－6を参照。口頭発表が取り上げられている書物の詳細は付録資料1－3を参照。

グを扱っているが、独自の発話ではないため調査対象から除外する。

以下は、集めた教科書について対象者、日本語レベル、取り上げられているジャンル及び取り上げられ方の観点で考察する。

3. 日本語教科書における口頭発表について

3.1. 対象者と日本語レベル

対象者の判断は主に教科書の記述に従う。表2で統計されているように、会話教科書の対象者は大学専攻日本語学習者が主である。中には同時に独習者や社会人と複数の記述がなされる教科書もある。総合教科書は、高等教育日本語資格認定試験用シリーズ教科書以外は、大学日本語専攻の学習者が対象である³。その他は全て対象者を限定しない。

表2. 口頭発表関連教科書の対象者

部類 対象者	会話類教科書	総合教科書	その他
大学日本語専攻	21	14	
大学日本語非専攻	2		
3年制専門学院	2		
資格認定試験	1	4	
特定なし	3		6
合計	29	18	6

日本語レベルに関しては、書名か前書きで初級、中級、上級と判定できるものもあるが、1冊～4冊のようにレベルに言及しない教科書が多い。中国大学日本語専攻学習指導要領によれば、大学の日本語教育は、基礎段階と高級段階に分けられている。基礎段階は第1、第2学年にあたり、高級段階は第3、第4学年にあたる。教科書にも基礎段階用と高級段階用に分けられているものが多い。日本語専攻の大学生は大体第3学年に

³ 社会人と複数の記述をしているものが1冊ある。

日本語能力試験 1 級を受ける⁴。このように総合的に判断すれば、第 1 学年用教科書は初級、第 2 学年用は中級、第 3、4 学年用は上級と考えていい。この基準でレベル分けして統計したのが表 3 である。

表 3. 口頭発表関連教科書の日本語レベル

部類 レベル	会話類教科書	総合教科書	その他	合計
初級	6	8		14
初級～中級	1			1
中級	10	6		16
中級～上級	2 ⁵			2
上級	5	4		9
初級～上級	2			2
特定なし	3		6	9
	29	18	6	53

表 3 に示されているように、部類 1 の会話類教科書は初級から上級へと全てのレベルに及んでいるが、中級以上のものが多い。一方、総合教科書は初級、中級、上級と明確にレベルが分けられ、口頭発表は初級、中級に集中している。その他の部類は教科書ではないため、日本語レベルは特定されていない。

以上の対象者と日本語レベルへの限定は、複数の要素が関わっていると思われる。その他の部類は教科書ではないため、対象者と日本語レベルを具体的に限定しないほうが得策と考えられているであろう。一方、正規教育機関用の教科書なら、対象者と日本語レベルを限定しているのが普通である。この場合、教科書の種類によって日本語レベル限定が分かれるようである。会話類教科書は中、上級のほうが多いのに対し、総合教科書のほうが初、中級レベルが多い。これはパブリックスピーキン

⁴ 2009 年から N1 級に変わった。

⁵ 大学非専攻日本語の 4・6 級レベル。

グの扱い方によるかと思われる。会話類教科書は専ら口頭コミュニケーション能力を育成するのが目的で、日常会話からパブリックスピーキングへと体系的に取り扱っているものが多い。日常会話よりパブリックスピーキングのほうにさらに日本語力が要求されるため、よりレベルの高い発話として位置づけられ、中上級レベルの会話類教科書で扱われやすい。一方、総合類教科書は近年応用を強調するため、産出活動の一環として初級から紹介、説明、調査発表などを練習に組み込まれるのである。

3.2. 取り上げられているジャンル

本調査で集めた教科書で取り上げられている口頭発表関連のジャンルを整理して、表4に示されるように分けている。大きくスピーチ類(①-⑧)とプレゼンテーション類(⑨-⑬)に分けられる。スピーチは、ある程度準備した内容を話す場合と即席発言をする場合があるが、共通点は話し手自身の情報、所感、所存を話すところにあると思われる⁶。一方、プレゼンテーションは自分以外の物事について調査したり、研究した結果を説明・紹介することであるため、準備したものを口頭発表する形になっている。

表4. 口頭発表関連教科書で取り上げられているジャンル

部類 ジャンル	会話類教科書	総合教科書	その他	合計	備考
①自己紹介	6	1	1	8	
②式辞	5	1	1	7	会議の司会を含める
③スピーチ	9	2	5	16	即席スピーチも含める
④感想を述べる	8	12	1	21	

⁶ ディベートは決められた立場で発言することになっているため、話し手の所存とは限らない。

中国で刊行された日本語教科書における口頭発表について

⑤意見を述べる	9	3	0	12	
⑥ディスカッション	7	11	0	18	討論、議論、パネルディスカッションも含める
⑦ディベート	4	3	0	7	
⑧面接	6	0	1	7	
⑨紹介・説明	14	14	0	28	グラフや表の説明も含める
⑩報告	3	7	0	10	結果・計画・討論の報告
⑪発表	7	10	0	17	プレゼンテーション、調査発表を含める
⑫ポスター発表	0	6	0	6	
⑬デモンストレーション	1	0	0	1	

全体から見ると、取り上げられているジャンルは幅広い。また、計数すれば、スピーチ類（①－⑧）は合わせて 96 となり、プレゼンテーション類（⑨－⑬）は 62 となっている。

具体的数字から見ると、取り上げられているジャンルのトップスリーは⑨紹介・説明、④感想を述べる、⑥ディスカッションであるが、⑪発表と⑫ポスター発表を合わせて計数すれば 23 と 2 番になる。

また、会話類教科書は⑫ポスター発表を除いて全てのジャンルに及んでいるが、⑨紹介・説明が多く取り上げられている。総合類教科書は、⑧面接、⑬デモンストレーション以外のジャンルを取り上げている。特に④感想を述べる、⑥ディスカッション、⑨紹介・説明が多い。また、⑪発表と⑫ポスター発表を合わせて 16 に上っている。これらのジャンルは

総合教科書の授業活動で扱われやすいと思われる。

さらに、ジャンルの分布を見ると、全ての部類にあるジャンルは①自己紹介 (8)、②式辞 (7)、③スピーチ(16)、④感想を述べる(21)である。中では③と④の絶対値が高く、さらに比率から見れば、その他にはスピーチが多く (5/6 冊)、総合教科書には「感想を述べる」が多い (12/18 冊)。

会話類と総合類の両方にあるジャンルは、④意見を述べる(12)、⑤ディスカッション(18)、⑦ディベート(7)、⑨紹介・説明(28)、⑩報告(10)、⑪発表(17)である。中では⑤、⑨、⑪の絶対値が高い。特に⑨紹介・説明は会話類においても総合類においても多い。

会話類とその他の両方にあるジャンルは⑧面接(7)のみである。これは実用性のジャンルが総合日本語とそぐわないためであろう。

会話類のみにあるジャンルは⑬デモンストレーション (1) である。動作をともなって説明するという口頭発表は中国国内にはまだ見られない新しいジャンルかと思われる。

総合類のみにあるジャンルはポスター発表(6)である。これは 2011、2012 年に出版された『基礎日本語総合教程 1－4』(林洪ほか) 及び『総合日語 2、4』(彭広陸ほか) で積極的に取り上げられているジャンルである。

以上まとめてみると、取り上げられているジャンルは教科書の部類を反映している一方、やや⑨紹介・説明に偏りがちである。

3.3 取り上げられ方

口頭発表の取り上げられ方は、教科書によって簡単な発表テーマ提示だけのものから、詳細に授業活動を考案するまでさまざまである。教科書における位置づけとあわせて整理してみた。

(1) 口頭発表が課の学習内容そのものになっている(会話類教科書の一部とその他の全部)。

この場合、表現の提示→モデル談話と訳文→単語、注釈、文法の勉強という座学的な取り上げられ方もあれば(資料1の3番)、先行タスク、サンプルの聞き取り観察、発話の構造と表現、練習、発表、評価と学習

の全プロセスまで組まれるものもある。(資料1の13-15番)さらに、概論、学習活動例、構成、表現、事例、課題提示、資料提示と口頭表現技術を詳細に取り上げているものも見られた(資料1-7番)

(2) 学習プロセスの一環として口頭発表のアウトプットがある(総合類教科書)。

例えば、インプットした内容と表現を参考に、チームで調べてきた事例を(ポスター・PPTなどを利用して)発表する。(資料2の12-15番)。

(3) 練習問題として取り上げられている(会話類教科書の一部と総合類教科書のほとんど)。

例えば、本文を読んで(或いは録音を聞いて)意見か感想を述べる、ディスカッションする。「発表練習」の部分に「～というテーマについて発表しなさい/意見を述べなさい」という練習問題が多い(資料1の22、24番など)。また、応用練習か発展練習として、課題、目標、形式、表現およびステップの提示がある。(資料2の4、5、8、9番)

(4) 会話・聴解のウォミング・アップとして取り上げられている(会話類教科書)。

例えば、毎課のウォミング・アップの部分に、学生にあるテーマについて紹介させたり説明させたりする質問がある。(資料1の6番)。また、ドラマやニュースを聞く前に「次の質問についてあなたの考え方や意見を日本語で自由に話してください」と質問の形で指示する(資料1の20、21番)。

(5) 資料の紹介で取り上げられている。

例えば、スピーチのコツなどの情報を提供する(資料1の29番)。面接時の挨拶・態度・姿勢、考えられる面接問題と答えの提示(資料3の3番)付録にグラフの読み方やディベートの仕方などの紹介がある(資料1の12番)。

4. 終わりに

以上、調査した口頭発表関連の教科書を会話教科書類、総合教科書類、その他に分類して、対象者と日本語レベル、取り上げられているジャンルと取り上げられ方を考察した。全ての教科書を網羅的に集めることが

困難であるため、調査した範囲は限られているが、教科書における口頭発表の扱いをある程度分かった。

さらに、12年間の教科書を考察した結果、大きな傾向として、口頭発表指導は、個人あて、弁論大会のためのスピーチ指導から、チームの調査発表、グループ討論の報告など授業活動に変わりつつあると思われる。これは2000年以来の中国義務教育改革によって、小中学校から調査発表のタスクが課せられることに関連すると思われる。

しかし、口頭発表を細かく指導する教材はまだ少なく、研究した成果を反映する『日本語表現技術・徐曙』と、指導経験を訴える『笈川日語演講教科書・笈川幸司』以外は見当たらなかった。特に口頭発表は「独話」とはいえ、口頭コミュニケーションの性質上、聞き手意識の「気付き」指導が重要である。聞き手に関心を持つ内容を話す、聞き手に分かる話し方をする、聞き手の立場を配慮して意見表明する、など内容と表現の両方から更なる指導が望ましい。

また、取り上げられているジャンルを整理した際、用語と意味内容の不一致が見られ、日本語、中国語、日本語の中国語訳の諸角度から検討し統一させることも、今後の課題になる。

参考文献

- 深澤のぞみ・ヒルマン小林(2011)「日本語教科書における口頭発表指導について」『金沢大学留学生センター紀要』第14号
- 深澤のぞみ・ヒルマン小林恭子(2011)「日本語ビジネス(式辞)スピーチの構造」『2011年度日本語教育大会春季大会予稿集』
- 翟東娜(2011)「口語の授業を語る」『北京師範大学外文学院日本語教育研究所第二回国際シンポジウム予稿集』

【付録】

資料1. 会話・口語教科書

番号	タイトル ・著者	出版社 (出版年)	日本語 レベル	主な 対象者	ジャンル	取り上げられ方
1	当代日本語会話(高級)・李淑雲ほか	大連理工大学出版社 2000	上級	言及しない	意見を述べる、グラフや表の説明	グラフや表の説明は教科書に書いてある質問に答える形で取り上げられている。毎課に「ある人が次のような意見を言っています。あなたはどう思いますか、話してみましょう」という練習問題がある。
2	日語聽說読写訳技能訓練(説・話す)・于麗萍	大連理工大学出版社2001	初級～上級	大学日本語専攻	スピーチ、感想を述べる	上級の部分は即席スピーチを中心とする。関連用語を提示し、3分間のスピーチを準備させる→スピーチのテーマが挙げられ、5分間準備して2～3分発表する→文章を読み、感想を述べる
3	日語常見場景応対・馬俊栄	世界図書出版公司 2001	初級～中級	言及しない	自己紹介、面接、会議の挨拶、自己アピール(趣味、性格、将来の計画、故郷、意見を	表現の提示→モデル談話と訳文→単語、注釈、文法の勉強

					述べるなど)	
4	新編日語 中級口語・陶友公 ほか	東南大学 出版社 2004	中級	大学日 本語専 攻及び 独習者	討論	第16～18課の内容は討論中心で、司会者による議題の提示、討論形式を決める、表現・語彙の提示、討論で使われる表現の提示、討論の展開、関連資料の提示がある。モデル発話もある。
5	標準日語 会話教程 初級・許羅 莎、嚴敏	北京大学 出版社 2005	初級	大学日 本語専 攻一年 生及び 独習者	自己紹介、 インタビューしたものの発表、報告、 図の説明、 討論、感想 を述べる	グループでいろいろなゲームをしてからある話題について自分の意見を述べる。自己紹介、インタビュー、報告、図の説明、演劇、討論などはゲームの一環として扱われる。
6	標準日語 会話教程 中級・許羅 莎、岸田修 次	北京大学 出版社 2005	中級	大学日 本語専 攻二年 生及び 独習者	感想を述 べる、説 明、1分間 ほどのス ピーチ、紹 介	毎課のウォミング・アップの部分に、学生に紹介させたり説明させたりする質問がある。また、ロールカードの前にも、学生に質問に答えさせたり感想を述べさせたりする。
7	日本語表 現技術・徐 曙	外語教学 与研究出 版社2005	上級	大学日 本語専 攻	プロジェ クトワー ク、パプ リ	概論(コミュニケーションの本質と方法など)、 学習活動例、構成、表

中国で刊行された日本語教科書における口頭発表について

					ック・スピーキング、ディベート、就職面接	現、実例、課題提示、資料提示
8	日語中級 口訳岗位 資格証書 考試・口語 教程・庞志 春、王建英	華東師範 大学出版 社2007	中級	日本語 通訳資 格試験 用	口語講座 (口頭表 現力とア ピールの 仕方、話す 時の姿勢 や態度話 し方など)。即席 スピーチ	毎課に一つの口語講座 があり、練習問題に2 つの即席スピーチのテ ーマが取り上げられて いる。
9	基礎日語 会話(1)・ 江炳坤、浜 野重隆	上海交通 大学出版 社2009	初級	高职高 专院校 (3年 制)	紹介、ディ スカッシ ョン、会議 の司会、意 見を述べる	練習に「～を紹介して ください」「～についてグ ループで話し合いくだ さい」などの問題が取 り上げられている
10	旅 遊 日 語・張勝芳	上海交通 大学出版 社2009	言及し ない	高职高 专院校 商务、 旅游日 语专业 教材	挨拶、説 明、紹介、 自己紹介	本文、新出語、会話文 の提示、 練習問題に「挨拶、説 明」などがある。
11	会話日語 第3冊・聞 芸	大連理工 大学出版 社2010	言及し ない	理工系 大学日 本語専	感想を述 べる、説 明、紹介な	グループ活動

応用言語学研究論集 NO6

				攻	ど	
12	会話日語 第4冊・聞 芸	大連理工 大学出版 社2010	言及し ない	理工系 大学日 本語専 攻	感想を述 べる、説明 する、議 論、アンケ ート、イン タビュー の調査発 表、ディベ ート、グラ フの説明	ウォミングアップの部 分に「～について説明 したり述べたりする」 ものが多い。教室活動 に「ディベート・イン タビュー・グループ発 表」をとりあげている ものがある。付録にグ ラフの読み方やディベ ートの仕方などの紹介 がある
13	基礎日本 語口語教 程1・翟東 娜ほか	高等教育 出版 社 2010	初級	大学日 本語専 攻	自 己 紹 介・スピー チ・意見発 表、司会	先行タスク、サンプル の聞き取り観察、発話 の構造と表現、練習、 発表、評価
14	基礎日本 語口語教 程2・翟東 娜ほか	高等教育 出版 社 2011	中級	大学日 本語専 攻	調査発表	先行タスク、サンプル の聞き取り観察、発話 の構造と表現、活動練 習、発表、評価
15	基礎日本 語口語教 程3・翟東 娜ほか	高等教育 出版 社 2012	中級	大学日 本語専 攻	企画会議、 デモスト レーショ ン、面接、 ディベー ト	先行タスク、サンプル の聞き取り観察、発話 の構造と表現、活動練 習、発表、評価
16	日語会話 教程発信 できる日 本語1・庄	外語教学 与研究出 版社2012	中上級	大学日 本語専 攻（二 年生の	意見を述 べる、イン タビュー、 議論、プレ	会話文→関連表現→中 国語の対応表現。関連 表現に「議論・プレゼ ンテーション・自己紹

中国で刊行された日本語教科書における口頭発表について

	鳳英、薛豹			前半)	ゼンテーション、会話力上達のコツに関する文章	介・感想を述べる」などの表現がある。プレゼンテーションはやり方だけが取り上げられる。
17	新概念日語聴説・孫力平ほか	上海訳文出版社 2005	中級	大学日本語専攻及び独習者	3 分間スピーチ	質問に答える→サンプルの聞き取り→単語・文法の解説→会話練習→口頭作文
18	新大学日語聴力与会話1・陳俊森、徐曙	高等教育出版社 2010	4 級～6 級	大学で第一外国語として	ディベート、スピーチ、感想を述べる	ステップ4： モデル会話を聞いた後、質問に答えたり感想を述べたりする。 ディベート、スピーチなどをさせる
19	新大学日語聴力与会話2・陳俊森、徐曙	高等教育出版社 2010	4 級～6 級	大学で第一外国語として	感想を述べる、発表、報告、インタビュー調査の発表、面接、さよならパーティーでの挨拶	モデル会話を聞いた後、質問に答えたり感想を述べたりする。発表・インタビューなどをさせる。第15 課に面接でよく質問される問題がある。
20	日語視聴説 教程 1・徐曙ほか	北京大学出版社 2010	上級	日本語専攻及び独習者	意見を述べる	ドラマやニュースを聞く前に「次の質問についてあなたの考え方や意見を日本語で自由に

						話してください」という練習がある。
21	日語視聴 説 教 程 2・徐曙ほ か	北京大学 出 版 社 2011	上級	日本語 専攻及 び独習 者	意見を述 べる	ドラマやニュースを聞く前に「次の質問についてあなたの考え方や意見を日本語で自由に話してください」という練習がある。
22	新編日語 会話1・程 国慶、程麗 華	中国宇航 出 版 社 2011	初級	大学日 本語専 攻	紹介、討論	グループ活動 練習に「～について討論する、言ってみる」ようなものがある。
23	新編日語 会話2・程 麗華、于曉 歆	中国宇航 出 版 社 2012	初級	大学日 本語専 攻	紹介	グループ活動
24	新編日語 会話3・趙 金艶	中国宇航 出 版 社 2012	中級	大学日 本語専 攻	議論、発表、意見を述べる	グループ練習 「発表練習」の部分に「～というテーマについて発表しなさい/意見を述べなさい」という練習問題が多い。
25	初級日語 会 話 教 程・王霞・ 王昕	大連理工 大学出版 社2012	初級	大学日 本語専 攻及び 独習者	紹介	場面、絵の提示 「図を見ながら、～をみんなに紹介しなさい」
26	中級日語 会話教程 (上)・王 霞、李曉霞	大連理工 大学出版 社2012	中級	大学日 本語専 攻及び 独習者	紹介	ウォミングアップ、モデル会話、文型・表現・訳文の提示、練習問題に「～についていって

中国で刊行された日本語教科書における口頭発表について

						みてください」のようなものが多い。
27	中級日語 会話教程 (下)・王霞、李潔	大連理工大学出版 社2012	中級	大学日本語専攻及び 独習者	紹介、感想を述べる、面接	ウォミングアップ、モデル会話、文型・表現・訳文の提示、練習問題に「～についていってみてください」のようなものが多い。
28	高級日語 会話教程・王霞、王盟	大連理工大学出版 社2012	高級	大学日本語専攻及び 独習者	自己PR、自己紹介、採用面接、意見を述べるなど	ウォミングアップ、モデル会話、文型・表現・訳文の提示、練習問題に「～についていってみてください」のようなものが多い。
29	笈川日語 演講教科書・笈川幸司	大連理工大学出版 社2012	初級～ 上級	特定なし	スピーチのコツ、テーマスピーチ(初級、中級、高級)、即席スピーチ	本の最初によいスピーチをするためのコツがある。スピーチの原文

2. 総合教科書

番号	タイトル・著者	出版社 (出版年)	日本語 レベル	主な 対象者	ジャンル	取り上げられ方
1	日語精読（第2冊）・宿久高、周異夫	外語教学 与研究出版社2007	中級	大学日本語専攻	意見を述べる、ディスカッション、ディベート	本文、単語、文法説明、練習問題。練習問題に本文の内容について意見を述べたり、ディスカッションやディベートしたりするものが多い。
2	日語精読（第3冊）・宿久高、周異夫	外語教学 与研究出版社2008	高級	大学日本語専攻	討論、感想/意見を述べる、	本文、単語、文法説明、練習問題。練習問題に本文の内容について意見を述べたり、ディスカッションや討論したりするものが多い。
3	日語精読（第4冊）・宿久高、周異夫	外語教学 与研究出版社2011	高級	大学日本語専攻	感想・意見を述べる、討論	本文、単語、文法説明、練習問題。練習問題に本文の内容について意見を述べたり、討論したりするものが多い。
4	総合日語1・彭広陸	北京大学出版社2009	初級	大学日本語専攻	紹介、ディスカッション、説明、討論報	発展練習：課題、目標、形式、表現およびステップの

中国で刊行された日本語教科書における口頭発表について

	ほか				告、調査報告	提示
5	総合日語2・彭広陸ほか	北京大学出版社 2010	初級	大学日本語専攻	説明、スピーチ、計画報告、アンケート調査報告、ポスター発表、感想、議論	発展練習はタスク、形式、手順の三つの部分からなる。スピーチはタスク、テーマ、形式、手順と例文の提示からなる。
6	総合日語3・彭広陸ほか	北京大学出版社 2010	中級	大学日本語専攻	ディベート、発表、説明、ディスカッション、紹介、グラフの説明	キーセンテンス、実例と関連表現の提示。発展練習と総合練習の2つの部分がある
7	総合日語4・彭広陸ほか	北京大学出版社 2011	中級	大学日本語専攻	説明、スピーチ、計画報告、調査報告、ポスター発表、感想、議論	実例、手順と準備することの提示、ステップごとの指示
8	実用日本語(初級上冊)・何琳、磐村文乃	北京大学出版社 2010	初級	高等教育日本語資格認定試験用	感想を述べる、図の説明	応用練習として、キーワードや図表を提示
9	実用日本語(初級)	北京大学出版社 2010	初級	高等教育日本語資格	感想を述べる、図の説明	応用練習として、キーワードや図表を提示

応用言語学研究論集 NO6

	下冊)・何琳、磐村文乃			認定試験用		
10	実用日本語(中級上冊)・周彤ほか	北京大学出版社 2011	中級	高等教育日本語資格認定試験用	調査発表、グラフの説明、紹介など	タスク先行、キーワードや図表の提示
11	実用日本語(中級下冊)・何琳ほか	北京大学出版社 2012	中級	高等教育日本語資格認定試験用	調査発表、グラフの説明、紹介など	タスク先行、キーワードや図表の提示。応用練習に「～について話してください/紹介してください」というような問題が多い。
12	基礎日本語総合教程1 林洪ほか	高等教育出版社 2010	初級	大学日本語専攻	自己紹介、紹介、ポスター発表、報告	インプットした内容と表現を参考に、チームで調べてきた事例を(ポスター・PPTなどを利用して)発表する。
13	基礎日本語総合教程2 潘寿君	高等教育出版社 2011	初級	大学日本語専攻	感想、ポスター発表、報告、紹介、ディスカッション	インプットした内容と表現を参考に、チームで調べてきた事例を(ポスター・PPTなど

中国で刊行された日本語教科書における口頭発表について

	ほか					を利用して)発表 する。パネルディ スカッション
14	基礎日 本語総 合教程 3 張慧芬 ほか	高等教育 出版 社 2011	中級	大学日 本語専 攻	感想、ポスタ ー発表、報 告、紹介、調 査発表、ディ スカッショ ン	インプットした内 容と表現を参考 に、チームで調べ てきた事例を(ポ スター・PPT など を利用して)発表 する。
15	基礎日 本語総 合教程 4 趙華敏 ほか	高等教育 出版 社 2012	中級	大学日 本語専 攻	感想、ポスタ ー発表、報 告、紹介、調 査発表、ディ スカッショ ン	インプットした内 容と表現を参考 に、チームで調べ てきた事例を(ポ スター・PPT など を利用して)発表 する。
16	高級日 語 (第 一 冊)・孟 慶榮ほ か	大連理工 大学出版 社 2011	上級	大学日 本語専 攻及び 社会人	調査発表、発 表、ディバ ート、感想を述 べる、討論、 紹介、説明、 自己紹介、報 告、スピーチ	グループ活動及び 演習
17	新編総 合日語 1・陳 俊榮ほ か	中国宇航 出版社 2011	初級	大学日 本語専 攻	紹介、説明、 感想をのべ るなど	練習の最後に「～ についてのべなさ い説明しなさい/ 紹介しなさい」の ような質問が多い
18	新編総	中国宇航	初級	大学日	紹介、説明、	練習の最後に「～

	合日語 2・張繼 彤ほか	出版社 2012		本語専 攻	感想を述べるなど	についてのべなさい/説明しなさい/紹介しなさい」のような質問が多い
--	--------------------	-------------	--	----------	----------	-----------------------------------

資料3. その他の書物

番号	タイトル・著者	出版社 (出版年)	日本語 レベル	主な 対象者	ジャンル	取り上げられ方
1	日語演 講範文 精選 (上冊)・ 劉偉、 劉小栄	南開大学 出 版 社 2008	言及し ない	特定なし(参考書・副教材)	日本文化、友情、理想などに関するスピーチ模範文	講演例の提示
2	日語演 講範文 精選 (下冊)・ 劉偉、 劉小栄	南開大学 出 版 社 2008	言及し ない	特定なし(参考書・副教材)	社会問題、中日両国関係、国際情勢などに関するスピーチ模範文	講演例の提示
3	面試日 語：日 資企业 成功面 试 方 略・皓 宝文	天津科技 翻訳出版 公司2008	言及し ない	特定なし	面接	面接中の挨拶・態度・姿勢、考えられる面接問題と答えの提示
4	改訂版 日本語	大連理工 大学出版	言及し ない	特定なし(参	日常即席講演：	講演例の提示、キーセンテンスの提

中国で刊行された日本語教科書における口頭発表について

	スピー チ実例 集・戦 慶勝、 千国軍	社2010		考書・ 副 教 材)	自己紹介、挨拶、祝辞、感謝、哀悼、感想、人生計画を述べる スピーチコンテスト:各テーマ	示と中国語訳
5	佳能杯 日語演 講比賽 獲賞作 品 評 析・陳 岩	大連理工 大学出版 社 2010	言及し ない	特定なし(参 考書・ 副 教 材)	スピーチ原稿(私の夢、私の思い出など)及びコメント	大連佳能杯日本語スピーチコンテスト(第一回目～第20回目)で受賞したスピーチ原稿及びコメント
6	中華全 国日語 演講比賽 優秀 演講文 集・中 華全 国日語 演講比賽 組織委 員会	中華全 国日語 演講比賽 組織委 員会 2010	言及し ない	特定なし	テーマスピーチ原稿(日本に紹介したい中国の文化、私でもできる環境保護対策など)	中華杯スピーチコンテスト(第4～5回)で受賞したテーマスピーチの原稿及び中国語訳

資料4 会話、口語教科書の延べ部数 (2000—2012)

調査地 書名キーワード	北京師範大学図書館	北京図書大厦	日本学研究センター
日語会話	29	44	0
日本語会話	2	1	1
会話日語	1	5	0
日語口語	34	51	0
日語初級口語	1	4	0
日語中級口語	1	1	0
日語高級口語	0	0	0
口語教程	1	0	0
日本語表現	1	0	0
日語聴力与会話	2	0	0
日語聴説	1	13	1
日語視聴説	4	3	0
その他	1	1	1
合計	78	123	3
延べ部数	204		

注：重複した書目及び日本で出版された書物の訳書を除外した。

重複した書目の判定は本学図書館を基準とする。

学生用書と教師用書とが検索範囲内の場合、学生用書だけを対象とする。

初版と改訂版がある場合、改訂版を対象とする。

資料5 総合教科書の延べ部数 (2000—2012)

調査地 書名キーワード	北京師範大学図書館	北京図書大厦	日本学研究センター
日語精読	2	8	4
総合日語	0	7	0
日語総合	0	9	0
日語基礎	0	4	0

中国で刊行された日本語教科書における口頭発表について

基礎日語	2	12	3
基礎日本語	0	4	0
中級日語	3	3	0
中級日本語	0	0	0
高級日語	3	6	0
標準日語	0	8	0
新編日語	2	10	0
実用日語	0	14	0
実用日本語	2	2	0
合計	14	87	7
延べ部数	108		

注: 他に、「日本語精読」「総合日本語」「新編日本語」「初級日本語」「初級日語」「高級日本語」などをキーワードとして検索したが、該当する本がなかったり、他のキーワードで検索した本と重なったりするため、上の表に示さなかった。

重複した書目及び日本で出版された書物の訳書を除外した。

重複した書目の判定は本学図書館を基準とする。

学生用書と教師用書とが検索範囲内の場合、学生用書だけを対象とする。

初版と改訂版がある場合、改訂版を対象とする。

資料6 その他の延べ部数 (2000—2012)

調査地 書名キーワード	北京師範大学図書館	北京図書大厦	日本学研究センター
交際	1	3	0
情景	7	0	0
場景	1	4	0
表達	16	0	2
致辭	1	0	0
演講	2	2	0
即席	3	0	0
面試	2	0	0

応用言語学研究論集 NO6

談判	2	2	0
旅遊	2	5	4
説日語	2	22	0
合計	39	38	6
延べ部数	83		

注：重複した書目及び日本で出版された書物の訳書を除外した。

重複した書目の判定は本学図書館を基準とする。

初版と改訂版がある場合、改訂版を対象とする。